

宮城県高齢者人口調査の結果について

1 調査の目的

この調査は、県が策定している「宮城県高齢者福祉計画」等、各種施策推進の基礎数値として活用するため、県における高齢者人口の動向等を把握するものである。

2 調査の主体 宮城県

3 調査の方法 各市町村の住民基本台帳を基に各市町村で調査した数値を集計。

4 調査時点 平成 29 年 3 月 31 日現在

5 調査結果の概要

(1) 高齢者人口（65歳以上）の状況……………表 1

高齢者人口は606,851人となっており、総人口の増加率が0.3%減少であるのに対し、高齢者人口の増加率は2.2%増加となっている。

(2) 高齢化率（総人口に対する65歳以上の割合）の状況……………表 2-1

高齢化率は26.3%で前年と比較して0.7ポイント上昇している。

【参考】全国の高齢化率は27.3%（平成 28 年 10 月 1 日現在）

① 広域圏別高齢化率の状況……………表 2-2

高齢化率が一番高いのは栗原圏域(36.7%)で、次いで気仙沼・本吉圏域(35.6%)、登米圏域(32.0%)、仙南圏域(31.3%)、石巻圏域(30.5%)、大崎圏域(29.8%)、仙台圏域(23.4%)となっている。

② 市町村別高齢化率の状況……………表 2-3

高齢化率が一番高い市町村は七ヶ宿町(46.4%)、次いで丸森町(38.3%)、山元町(37.8%)、女川町(37.8%)、栗原市(36.7%)の順で、県内半数以上の21市町が30%を超えている。

一方、高齢化率が一番低い市町村は、富谷市(18.2%)で、次いで利府町(20.7%)、大和町(20.8%)、名取市(21.3%)、仙台市(22.8%)の順となっている。

(3) 在宅のひとり暮らし高齢者（65歳以上）の状況……………表 3

在宅ひとり暮らし高齢者数は 111,120 人で、65 歳以上の人口に占める割合は 18.3%となっている。